

俑の世界

2015年7月14日（火）～7月26日（日）
8月4日（火）～8月30日（日）

南館2階第18陳列室

「俑」とは墓に副葬するために陶磁器などで作られた「ひとがた」のことですが、近年の中国では動物や建造物などを象った副葬品もあわせて俑と呼ぶようになってきました。中国では古くから死後の世界でも墓主は生前と同様な生活をおくるという思想があり、葬送者は墓主が死後の生活を継続しておくために必要とされる俑を作り、墓を守る辟邪などの俑とともに副葬しました。俑は戦国時代から明清時代まで作られましたが、各時代の風俗を知る上で貴重な資料ともなります。今回は前漢～唐時代の俑を展覧します。時代ごとに大きく異なる俑の造形をお楽しみ下さい。

灰陶加彩 武人	前漢時代	紀元前2世紀		個人蔵
灰陶加彩 女官	後漢時代	1-2世紀	本館蔵	山口コレクション
灰陶 武人	三国時代	3世紀		個人蔵
灰陶加彩 文官	北魏時代	6世紀		個人蔵
灰陶加彩 武人	唐時代	8世紀		個人蔵
加彩 女官	唐時代	8世紀		個人蔵
三彩 騎馬女官	唐時代	8世紀		個人蔵
三彩 文官	唐時代	8世紀	本館蔵	吉村芳野氏寄贈
灰陶加彩 力士	後漢時代	1世紀		本館蔵
加彩 侏儒女官	唐時代	8世紀		本館蔵
加彩 侏儒	唐時代	8世紀		個人蔵
緑釉 庖人	後漢時代	1世紀		個人蔵
灰陶加彩 鎮墓獸	後漢末-三国時代	3世紀	本館蔵	山口コレクション
灰陶加彩 駱駝	北魏時代	6世紀		個人蔵
三彩 駱駝	唐時代	8世紀		本館蔵
灰陶 鴟鴞尊	後漢時代	1-2世紀		個人蔵
灰陶加彩 鎮墓獸	西晋時代	3世紀		個人蔵
黒陶 罍	前漢時代	紀元前1世紀	本館蔵	曾根清治氏寄贈
灰陶印花 井戸	後漢時代	1世紀		個人蔵
灰釉 家屋	後漢時代	1-2世紀		本館蔵
緑釉 望楼（部分）	後漢時代	1-2世紀		個人蔵
灰陶 竈	後漢時代	1世紀		本館蔵
褐釉 竈	前漢末-後漢時代初期	1世紀		本館蔵
青磁 竈	呉-西晋時代	3世紀		本館蔵
加彩 竈	唐時代	8世紀		本館蔵

越州窯